

2013 年度  
環境活動レポート  
(2013.3 ~ 2014.2)

 山口自動車株式会社

作成:2014.05.03

# 1:組織の概要

## 1)事業所名及び代表者名

山口自動車株式会社

代表取締役 山口 誠志

## 2)所在地

本社及び本社工場	252-0216 神奈川県相模原市中央区清新 4-14-7
峡の原工場	252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 3-3-6
宮下工場	252-0212 神奈川県相模原市中央区宮下 3-16-25
横浜サービスセンター	236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 6-9
YM 交通 本社営業所	252-0216 神奈川県相模原市中央区清新 4-14-7
YM 交通 津久井営業所	252-0153 神奈川県相模原市緑区根小屋 1930-6
YM 物流 津久井営業所	252-0153 神奈川県相模原市緑区根小屋 1930-6
人材派遣センター	252-0205 神奈川県相模原市中央区小山 3-1-36

## 3)環境管理責任者及び担当責任者

環境管理責任者:山口誠志

担当連絡者 :佐藤広一

連絡先 :神奈川県相模原市中央区清新4 - 14 - 7

TEL 042-772-5312 FAX 042-772-5638

---

---

#### 4) 事業活動の内容

- 一般自動車整備及び各種自動車販売
- トラックボディー及び特装車の改造・架装
- 一般旅客輸送業・乗合旅客輸送業
- 一般貨物輸送業・人材派遣業

#### 5) 事業の規模

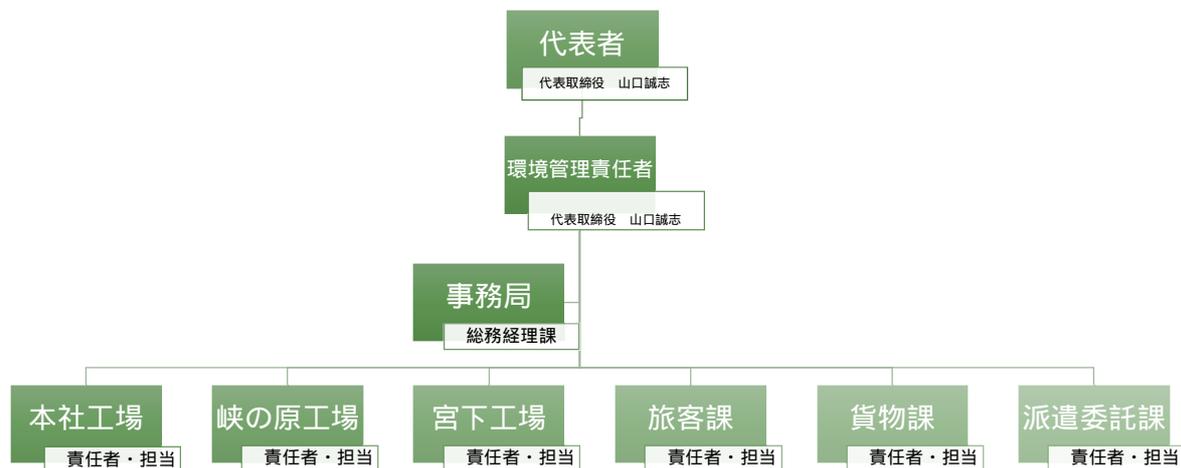
	2011年	2012年	2013年
売上高 (千円)	1,588,402	1,701,394	1,726,245
従業員数 (人)	160	160	170
延床面積 (㎡)	2,475	2,475	2,475

## 2: 対象範囲

	事業所	主な事業
山口自動車株式会社	本社工場	自動車整備
	峡の原工場	自動車整備
	宮下工場	自動車整備
	旅客課 (YM 交通)	バス事業
	貨物課 (YM 物流)	貨物輸送
	派遣委託課	ドライバー派遣
	横浜サービスセンター	自動車整備

新設の工場(平成 25 年 12 月稼働)につき本年度は活動方法の検討にとどまっているため今年度のレポートでは対象外とします。

## エコアクション 21 実行委員会 (組織図)



<b>代表者</b> 環境経営に関する統括責任者	EA21 の全体的な取組状況を把握し環境活動が円滑に推進されるように、適切な指示、評価、見直し等を行うとともに実施に必要な資源を準備する。 環境管理責任者を任命する
<b>環境管理責任者</b>	環境経営システムを構築し、維持・管理する
<b>事務局</b>	データ取りまとめ並びに資料作成と活動取りまとめ
<b>各事業場所</b>	工場長または現地責任者が EA21 の現地責任者 EA21 担当者は責任者の補佐と位置づける EA21 の活動を理解し環境負荷を軽減するための活動方策を講じる四半期ごとに評価と見直しを実施する  <b>担当者</b> データの計測、取りまとめを毎月行い事務局へ報告し現場での具体的な指導を行う

## 3 : 環境方針

### 1 企業理念

---

#### 人の輪を持ち、環境、地域社会に貢献する

(企業理念に基づき具体的な取組を環境理念に示し展開する)

### 2 環境理念

---

環境問題は、自動車整備・販売および流通に携わる事業者として最重要課題です。

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減に取り組みます。

また適正な整備の普及・促進を通じて、燃料消費率の向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化により社会に貢献します。

さらに低公害車の販売に努めます。また、バス・物流部門については、エコドライブの実施・低公害車の導入の検討・自動車の点検・整備を適正に行い企業のあらゆる活動面で、地球環境の保全に配慮して行動します。

### 3 環境行動方針

---

環境問題は、自動車整備事業・旅客運送事業・貨物運送事業に携わる事業者として最重要課題です。

「地球にやさしい企業」をスローガンに地球環境との調和、地球環境への配慮を意識し企業としての活動において全社をあげて環境負荷の低減に取り組みます。

---

---

**3.1 環境法規の厳守**

環境関連法規制を遵守することを誓約します。

**3.2 二酸化炭素排出量・削減の推進**

事業活動に於ける電力・軽油・ガソリンなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。また社有車及び事業用バス・トラックのアイドリングストップ、エコドライブを推進します。エンジン洗浄については、グリーン購入法に準じて実施いたします。

**3.3 廃棄物排出量・削減の推進**

事業所内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし分別処理を推進します。

**3.4 総排水量・削減の推進**

事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。

**3.5 リサイクル活動による省資源化の推進**

省資源のために、リサイクル自動車部品の使用を積極的に推進します。

**3.6 購入商品のグリーン化を推進します。**

2011年より毎年1品目ずつ増やします。

**3.7 化学物質の適正管理を徹底します。**

**3.8 環境への配慮を推進します。**

2013年3月1日

山口自動車株式会社

代表取締役 山口誠志

---

---

## 4: 環境目標

(原単位/10万円)

項目		単位	2011年	2012年	2013年
電気使用量		kwh	12.65	12.52	11.59
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減
燃料	灯油	L	0.24	0.23	0.28
	LPG	kg			
	LPG	kg	0.02	0.02	0.01
	ガソリン	L	1.91	1.89	4.62
	軽油	L	23.44	23.21	24.08
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減
二酸化炭素排出量		kg - CO2	71.89	71.17	72.19
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減
廃棄物	一般	kg	1.01	1.00	1.04
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減
	産廃	kg	3.51	3.48	5.05
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減
コピー用紙 (500枚 / 2kg)		kg	0.05	0.04	0.05
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減
水使用量		m <sup>3</sup>	0.19	0.18	0.2
				2011年実績 1%減	2012年実績 1%減

当社は異なった事業を行っている為、それぞれの事業部毎に削減目標(1%)を定め、その合計値から全社目標を導きだしている

### 化学物質

PRTR 法に基づく化学物質量の測定  
トルエンの削減

### グリーン購入

1 品目追加

### 環境配慮

リサイクルパーツの購入(年間の取り扱い金額の計測)  
燃費の向上 (エコドライブ教育)  
(YM 交通、YM 物流においては前年度比 1%の削減)  
ペットボトルキャップ、空き缶のプルトップの回収

## 5 : 環境活動計画

### 環境法規の遵守

---

(ア) 環境関連法規の調査と実態把握並びに指導

### 二酸化炭素の排出量の削減

---

(イ) 購入電力の使用量の削減

電灯スイッチに「節電」シールを貼る

不要照明の消灯

休憩時間等、業務を行っていないときは消灯しチェックシートに記入する

休憩時間等、業務を行っていないときはコンプレッサーの電源を落とし、チェックシートに記入する

自主点検として年1回の漏電検査を実施する

エアコンの設定温度管理を徹底(暖 23 以下 冷 27 以上)

クールビズ ウォームビズの推進

(ウ) 化石燃料使用の削減

アイドリングストップの徹底

定期的な燃費の調査(輸送部門には目標値を設定)

エコドライブの徹底と教育

車両の適正な点検と整備

### 廃棄物排出量の削減

---

(エ) 一般廃棄物の削減及び産業廃棄物の削減

ペーパーレスの推進(PDF化)

メールの活用

裏紙の積極利用

分別の徹底

産業廃棄物の削減

分別の徹底による有価処理の推進

---

---

## 総排水量の削減

---

- (オ) 上水利用
  - 手洗時の流し放しをやめる
  - 洗車時のホースに節水ノズルを装着する
  - 洗車時のバケツの利用
  - 雨水の活用推進をする
  - 節水コマの装着
  - 洗濯の効率化(回数を減らす)

## 化学物質使用量の削減

---

- (カ) 適正管理
  - 塗料類並びにオイルの適正保管
  - 在庫の把握
  - 使用量の把握(PRTR 法とトルエンの削減)

## グリーン購入の向上

---

- (キ) 購入品の選定
  - 毎年 1 品目追加

## 環境配慮

---

- (ク) リサイクルパーツの購入
    - 中古、リビルト部品の積極利用(利用率の向上に務める)
  - (ケ) 社会貢献
    - 事業所周辺の清掃活動
    - ペットボトルのキャップ回収(ワクチンの普及活動)
    - 空き缶のプルトップの回収(車椅子の購入活動)
- 
-

# 6: 環境活動の取組結果

## 6-1 全社

項目	単位	2012年実績		2013年目標値 2010年実績 1%削減		2013年実績				
		総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	目標対比	評価	
電気使用量	kwh	143,984	11.84	147,688	11.59	147,842	11.60	0.10%	×	
燃料	灯油	L	3,490	0.29	3,544	0.28	2,750	0.22	22.39%	
	LNG	kg					193	0.08	8.47%	
	LPG	kg	161	0.01	164	0.01	119	0.01	27.10%	
	ガソリン	L	18,603	1.53	58,823	4.62	54,501	4.28	7.35%	
	軽油	L	297,847	24.50	306,778	24.08	337,870	26.52	10.14%	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	894,205	73.56	919,839	72.19	1,082,748	84.97	17.71%	×	
廃棄物	一般	kg	12,630	1.04	13,241	1.04	11,300	0.89	15%	
	産廃	kg	61,533	5.06	64,292	5.05	41,862	3.29	34.89%	
コピー用紙使用量 (500枚/2.0kg)	kg	638	0.05	660	0.05	468	0.04	29.04%		
水使用量	m <sup>3</sup>	2,479	0.20	2,539	0.20	2,105	0.17	17.11%		

(排出係数 0.418)

グリーン購入: テープのりを文具に追加

環境配慮 : 事業所周辺の清掃活動

ペットボトルのキャップ回収(ワクチンの普及活動)

空き缶のプルトップの回収(車椅子の購入活動)

## 6-2: 本社工場

項目	単位	2012年実績		2013年目標値 2010年実績1%削減		2013年実績				
		総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	目標対比	評価	
電気使用量	kwh	45,114	22.70	44,578	22.47	41,983	21.16	5.82%		
燃料	灯油	L	2,467	1.24	2,438	1.23	1,456	0.73	40.27%	
	LPG	kg	108	0.05	107	0.05	56	0.03	47.52%	
	ガソリン	L	9,092	4.57	8,984	4.53	8,569	4.32	4.62%	
	軽油	L	4,645	2.34	4,590	2.31	6,449	3.25	40.51%	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	58,628	29.50	57,932	29.20	58,165	29.32	0.40%	×	
廃棄物	一般	kg	2,830	1.42	2,825	1.42	2,590	1.31	8.31%	
	産廃	kg	9,575	4.82	9,461	4.77	9,661	4.87	2.11%	×
コピー用紙使用量 (500枚/2.0kg)	kg	186	0.09	184	0.09	48	0.02	73.88%		
水使用量	m <sup>3</sup>	847	0.43	836	0.42	462	0.23	44.83%		

## 6-3: 峡の原工場

項目	単位	2012年実績		2013年目標値 2010年実績1%削減		2013年実績				
		総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	目標対比	評価	
電気使用量	kwh	32,024	9.08	34,657	8.99	43,615	11.32	25.85%	×	
燃料	灯油	L	963	0.27	1,042	0.27	979	0.25	6.06%	
	LPG	kg	53	0.01	57	0.01	63	0.02	11.20%	×
	ガソリン	L	3,691	1.05	3,994	1.04	2,874	0.75	28.06%	
	軽油	L	1,048	0.30	1,134	0.29	818	0.21	27.89%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	27,263	7.73	29,505	7.66	29,678	7.70	0.59%	×	
廃棄物	一般	kg	5,170	1.47	5,652	1.47	5,700	1.48	0.86%	×
	産廃	kg	20,632	5.85	22,328	5.79	17,346	4.50	22.31%	
コピー用紙使用量 (500枚/2.0kg)	kg	106	0.03	115	0.03	100	0.03	12.83%		
水使用量	m <sup>3</sup>	686	0.19	742	0.19	625	0.16	15.81%		

## 6-4:宮下工場

項 目	単位	2012 年実績		2013 年目標値 2010 年実績 1%削減		2013 年実績				
		総量	原単位 /10 万円	総量	原単位 /10 万円	総量	原単位 /10 万円	目標対比	評価	
電気使用量	kwh	40,858	17.30	41,701	17.13	39,089	16.05	6.26%		
燃料	灯油	L	20	0.01	20	0.01	72	0.03	252.72%	×
	LPG	kg								
	ガソリン	L	4,203	1.78	4,289	1.76	3,821	1.57	10.93%	
	軽油	L	444	0.19	453	0.19	310	0.13	31.54%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	28,051	11.88	28,630	11.76	26,203	10.76	8.48%		
廃棄物	一般	kg	4,090	1.73	4,174	1.71	3,010	1.24	27.89%	
	産廃	kg	23,387	9.90	23,870	9.80	14,110	5.79	40.89%	
コピー用紙使用量 (500 枚/2.0kg)	kg	64	0.03	65	0.03	50	0.02	23.45%		
水使用量	m <sup>3</sup>	370	0.16	378	0.16	392	0.16	3.80%	×	

### 化学物質:PRTR 法に基づく化学物質量の測定

トルエンの削減 (使用量は昨年より 175.1Kg 減少した)

### 環境配慮:中古、リビルト部品の積極利用

部品点数が多く利用率の算出ができなかったが、おおよその仕入金額は集計することが出来た。

## 6-5: 旅客課 (YM 交通)

項目	単位	2012年実績		2013年目標値 2010年実績 1%削減		2013年実績				
		総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	目標対比	評価	
電気使用量	kwh	11,707	5.48	12,790	5.42	9,313	3.95	27.18%		
燃料	灯油	L				243	0.10	456.98%	×	
	LNG	kg				193	0.08	8.47%		
	LPG	kg								
	ガソリン	L				36,616	15.52	8.47%		
	軽油	L	116,437	54.46	127,207	53.92	138,683	58.78	9.02%	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	310,564	145.26	339,290	143.81	453,981	192.42	33.80%	×	
廃棄物	一般	kg	540	0.25	590	0.25	0	0.00	100.00%	
	産廃	kg	7,539	3.53	8,236	3.49	745	0.32	90.95%	
コピー用紙使用量 (500枚/2.0kg)	kg	172	0.08	188	0.08	182	0.08	3.14%	×	
水使用量	m <sup>3</sup>	187	0.09	204	0.09	330	0.14	61.53%	×	

## 6-6: 貨物課 (YM 物流)

項目	単位	2012年実績		2013年目標値 2010年実績 1%削減		2013年実績				
		総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	達成率	評価	
電気使用量	kwh	11,068	7.15	10,964	7.08	11,423	7.38	4.19%	×	
燃料	灯油	L								
	LPG	kg								
	ガソリン	L	757	0.49	750	0.48	1,028	0.66	37.09%	×
	軽油	L	171,243	110.65	169,634	109.55	188,084	121.46	10.88%	×
二酸化炭素排出量	kg-CO2	455,784	294.52	451,500	291.58	500,758	323.39	10.91%	×	
廃棄物	一般	kg								
	産廃	kg	400	0.26	396	0.26	0	0.00	100.00%	
コピー用紙使用量 (500枚/2.0kg)	kg	90	0.06	89	0.06	80	0.05	10.27%		
水使用量	m <sup>3</sup>	264	0.17	261	0.17	199	0.13	23.76%		

## 6-7:派遣委託課

項目	単位	2012年実績		2013年目標値 2010年実績1%削減		2013年実績				
		総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	総量	原単位 /10万円	達成率	評価	
電気使用量	kwh	3,213	5.39	2,998	5.34	2,419	4.31	19.31%		
燃料	灯油	L								
	LPG	kg								
	ガソリン	L	860	1.44	803	1.43	1,594	2.84	98.55%	×
	軽油	L	4,029	6.76	3,759	6.69	3,525	6.27	6.23%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	13,915	23.34	12,983	23.11	13,963	24.85	7.55%	×	
廃棄物	一般	kg								
	産廃	kg								
コピー用紙使用量 (500枚/2.0kg)	kg	20	0.03	19	0.03	8	0.01	57.13%		
水使用量	m <sup>3</sup>	126	0.21	117	0.21	97	0.17	17.16%		

### 環境配慮:燃費の向上(エコドライブ教育)

YM 交通燃費改善(前年度対比 1.46%向上)

YM 物流燃費改善(前年度対比 25.77%向上)

# 7: 環境活動計画の取組結果と評価

## 次年度の取組内容

### 7-1 環境法規の遵守

評価	関係法規の把握とその履行状況に問題は無く、外部関係機関からの指摘も無かった
次年度の取組	2013 年同様

### 7-2 二酸化炭素の排出量の削減

評価	全社的に燃料(ガソリン、軽油)の使用量が増加してしまった。 輸送事業部(YM 交通 YM 物流) 前年度より燃費の向上は図れたがそれ以上に輸送料金の上昇幅が大きく、走行距離の増加に繋がった。 整備事業部(本社工場) 回送業務の増加にともない燃料の使用量が増加してしまった。
次年度の取組	YM 交通においては新料金体系における売上単価の増加を図り、YM 物流においては単価交渉並びにエコドライブを促進する。

### 7-3 廃棄物排出量の削減

評価	全社的に削減効果が結果に結びついている。 整備事業部(本社工場)においては 2014 年の引っ越しに備えた整理の関係上排出量が増加してしまっている。 輸送事業部においては社内にゴミを持ち込まないように、従業員とお客様に働きかけた成果が現れた。
次年度の取組	2014 年に新工場への移転を予定しているため絶対量は増加すると思われるが、廃棄物が極力出ないように各部門とも努力することとする。

### 7-4 総排水量の削減

評価	全社的に削減効果が結果に結びついている。 YM 交通に関してはスキー場への運行を開始したため、洗車回数が増加してしまった。
次年度の取組	今後とも節水に努力する。

### 7-5 化学物質使用量の削減

評価	PRTR 法の報告義務には該当しなかった。 結果的にトルエンの使用量は削減することが出来た。
次年度の取組	修理案件毎に使用量が変動するために定量的な削減目標を設定することは難しいとかがえられる。 使用量の変動に注力し、管理を徹底することとする。

### 7-6 グリーン購入の向上

評価	本年度も 1 品目の増加
次年度の取組	本年度と同様

### 7-7 環境配慮

評価	リサイクルパーツ 使用点数が多いため、数量的な管理が難しく結果的に利用率を導き出すことはできなかった。 燃費の向上 輸送事業部において燃費の改善がみられた。
次年度の取組	リサイクルパーツに関しては量的管理が困難であるため、仕入金の総額を計測し増加につとめる。 燃費に関しては輸送事業部において更なる削減を目指す。

## 8: 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、告訴等 の有無

### 8-1 廃棄物処理法

法 12 条第 2 項	産業廃棄物が運搬されるまでの間は、保管基準に従い生活環境の保全上支障のないように保管すること	違反無
法 12 条第 6 項	産業廃棄物の運搬又は処分を委託するときは、委託基準に従い産業廃棄物処理業者(収集運搬業者及び処分業者)等に委託すること	違反無
法 12 条の 3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)使用義務、保管義務、交付状況の報告、未回収等の際の措置状況報告等	違反無

### 8-2 相模原市廃棄物の減量化資源化及び適正処理等の推進に関する条例

第 6 条	分別の徹底等により事業系廃棄物の減量化及び資源化に努める	違反無
第 6 条 第 24 条	事務系一般廃棄物に関して適正に分別して排出し処理しなければならない	違反無
第 18 条	条例に定める排出禁止物の厳守	違反無

### 8-3 消防法

第 17 条の 3 の 3	消防用施設等の検査	違反無
第 9 条の 4 第 10 条	危険物貯蔵規制	違反無

### 8-4 相模原市火災予防条例

第 31 条 第 32 条 第 34 条	危険物貯蔵規制	違反無
第 20 条	液体燃料を使用する器具の取扱	違反無
第 22 条	気体燃料を使用する器具の取扱	違反無
第 23 条	電気を熱源とする器具の取扱	違反無
第 29 条	作業中の防火管理	違反無

### 8-5 PRTR 法

第 2 条第 5 項	第 1 種指定化学物質等取扱事業者の適用条件の把握	違反無
------------	---------------------------	-----

### 8-6 自動車リサイクル法

法第 8 条 法第 9 条	使用済自動車の引渡義務	違反無
------------------	-------------	-----

### 8-7 自動車 NoxPM 法

第 4 条	自動車排出窒素酸化物等による大気汚染の防止に関する施策に協力しなければならない	違反無
第 3 条	車種規制(車検証交付制度)	違反無

### 8-8 道路運送車両法

第 58 条 第 59 条 第 62 条	車両の検査及び検査証	違反無
第 41 条	保安基準に適合するものでなければ、運行の用に供してはならない	違反無

### 8-9 水質汚濁防止法

第 2 条	指定事業場(有害物質を取扱)	違反無
-------	----------------	-----

### 8-10 騒音規制法

第 6 条	特定施設の設置の届出 空気圧縮機 7.5W 以上	違反無
-------	-----------------------------	-----

### 8-11 振動規制法

第 6 条	特定施設の設置の届出 空気圧縮機 7.5W 以上	違反無
-------	-----------------------------	-----

### 8-12 フロン回収破壊法

第 19 条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	違反無
--------	--------------------	-----

**8-13 毒物及び劇物取締法**

第 3 条の 3	禁止規定	違反無
第 11 条 第 12 条	毒物または劇物の取り扱い	違反無

**環境関連法規への違反、起訴等の有無**

環境関連法規への違反、起訴等はありません。

なお、関係当局の違反等の指摘は過去 3 年間ありません。

## 9: 代表者の全体評価と見直しの結果

### 9-1 全体評価

計画の実施並びに目標の達成状況、法規等の遵守状況から主要な活動は概ね達成出来たと思われます。また、日々活動への協力と取組をしていただいた従業員各位に感謝いたします。

環境方針の変更はありませんが 2013 年 12 月に横浜サービスセンターが稼働し、2014 年 8 月には相模原サービスセンターが稼働を開始します。

伴い本社工場と峡の原工場も閉鎖となり、新たな体制での運営となりますので、環境マネジメントシステムを大幅に変更する必要がありますので、従業員各位についてはより一層の協力をお願いします。

### 9-2 見直し結果

#### 環境活動計画（基本的には本年度と同様とするが以下の点を改善する）

環境法規の遵守	今後も関連情報の入手並びに各種届出更新を確実に履行する
二酸化炭素の排出量の削減	輸送事業部を中心にさらなる燃費の向上を図る 本年度対比 0.5%の数値目標を設定する
廃棄物排出量の削減	引っ越し作業にて一時的ではあるが廃棄物の増加が予想されるので、分別の強化と納品時の梱包材等の減量化を仕入先に働きかける
総排水量の削減	本年同様とする
化学物質使用量の削減	PRTR 法に基づく量の管理を本年度同様に実施する 修理案件毎に使用量が変動するために定量的な削減目標を設定することは難しいとかがえられる。 使用量の変動に注力し、管理を徹底することとする。
グリーン購入の向上	本年度同様とする
環境配慮	リサイクルパーツ 使用点数が多いため数量的な計測が難しいので、仕入金額の増加を促進する。前年度対比(5%増)

2014 年 5 月 3 日

山口自動車株式会社 代表取締役 山口誠志